

好気性細菌

菌名		特徴
<i>Bacillus cereus</i>	セレウス菌	自然界に広く分布しており、特に加熱された食品や米飯、麺類など増殖しやすい。芽胞を形成するため、熱や乾燥に強く、通常の加熱調理では死滅しにくい。
<i>Bordetella pertussis</i>	百日咳菌	呼吸器の粘膜に付着して増殖し、咳を引き起こす毒素を産生する。感染力が非常に強く、ワクチン未接種の乳幼児が感染者の飛沫に触れると高確率で感染する。
<i>Bacillus subtilis</i>	納豆菌	納豆菌の芽胞は乾燥や熱、酸に非常に強く、胃酸にも負けずに腸まで届く。腸内環境を整えるはたらきがある。
<i>Escherchia coli</i>	大腸菌	動物の糞便に含まれている代表的な菌であり、通常は水道水から検出されないため、糞便汚染の指標となる。
<i>Escherchia coli</i> (O-157)	大腸菌	生肉の表面に付着していることがあり、汚染された食品や水を接種することによって感染する。ペロ毒素という強い毒素を産生し、激しい腹痛や血便を伴う出血性大腸炎を引き起こすことがある。
<i>Legionella pneumophila</i>	レジオネラ	自然界に広く分布し、適切な水質管理がされていないと循環式浴槽や冷却塔、加湿器などで増殖する。
<i>Listeria monocytogenes</i>	リステリア菌	自然界に広く分布しており、低温や塩分濃度が高い環境でも増殖できる。加熱によって死滅するが、冷蔵保存されている食品や塩漬けの食品などでも増殖する。
<i>Moraxella osloensis</i>	モラクセラ菌	常在菌の一種で、生乾き集の原因菌とされる。通常は病原性が低いとされるが、免疫力が極端に低下している人に対しては日和見感染症を引き起こすこともある。
MRSA	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	免疫力が低下している人や、術後の患者、高齢者などが感染すると重症化する、主な症状として皮膚の化膿、発熱、吐き気、下痢などが挙げられる。
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	淋菌	男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎や尿道炎を引き起こす。乾燥や低温に弱く、生体の外では死滅しやすい。
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	緑膿菌	自然界に広く分布し、通常無害だが、免疫力が低下している場合感染症を引き起こす。肺炎、尿路感染症、創傷感染、敗血症など様々な症状を引き起こす。
<i>Salmonella enterica</i>	サルモネラ菌	家畜・家禽類の腸管内に生息しており、河川や下水道などの自然界にも広く分布する。乾燥に強く、少ない菌数で感染が成立する場合もある。
<i>Staphylococcus aureus</i>	黄色ブドウ球菌	自然界に広く分布しており、ヒトの皮膚や鼻腔などにも存在する。調理する人の手指に傷や可能性がある場合、食品を汚染して増殖し、エンテロトキシンという毒素を産生する
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	表皮ブドウ球菌	皮膚に存在する常在菌であるが、過増殖や皮膚のバリア機能低下によって感染症を引き起こすこともある。

通性嫌気性菌

菌名		特徴
<i>Cronobactor sakazakii</i>	クロノバクター・サカザキ	乾燥や熱に比較的強い性質を持ち、特に育児用調製粉乳の汚染源として懸念される。新生児や低出生体重児などの乳幼児が感染すると、重症化して重篤な後遺症が残るリスクが高い。
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	肺炎マイコプラズマ	主に小児や若年層の感染が多い。感染経路として、感染者の咳やくしゃみによる飛沫感染や、接触感染がある。
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	肺炎球菌	特に高齢者や免疫力が低下している方、慢性気管支炎や呼吸器ウイルス感染症のある方、乳幼児が重症化しやすい。唾液などを通じて飛沫感染する。
<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群溶血性レンサ球菌	健康なヒトの鼻や皮膚にいる常在菌であるが、呼吸器や皮膚の傷口から侵入して様々な感染症を引き起こすことがある。代表的な疾患として咽頭炎やとびひなどが挙げられる。

微好気性細菌

菌名		特徴
<i>Campylobacter coli</i> ／ <i>jejuni</i>	カンピロバクター	家畜・家禽類の腸管内に生息しており、加熱が不十分な食肉やレバーなどの臓器を食べることによって感染する。少ない菌数でも症状を引き起こし、重症化すると神経疾患を引き起こす

偏性嫌気性菌

菌名		特徴
<i>Clostridium perfringens</i>	ウェルシュ菌	特にカレー、シチュー、煮物などの加熱調理食品を長時間放置した場合に発生しやすい。芽胞を形成するため、熱や乾燥に強く、通常の加熱調理では死滅しにくい。
<i>Porphyromonas gingivalis</i>	歯周病菌	主に歯周ポケット内に生息し、歯肉からの出血をエサとして増殖する。タンパク質分解酵素「ジンジバイン」を分泌して歯茎の細胞を分解し、口臭の原因である硫化水素も産生する。
<i>Streptococcus mutans</i>	虫歯菌	口中に住みつく常在菌の一種。酸性環境下でも生存・活動できる高い耐酸性を持っており、糖分を分解して乳酸などの酸を産生し、歯のエナメル質を溶かす。
<i>Virio parahaemolyticus</i>	腸炎ビブリオ	海水中に広く分布し、他の菌に比べて増殖速度が非常に速い。熱や真水、低温には弱い。魚介類を介して食中毒の原因となることがあり、激しい腹痛や水溶性の下痢を引き起こす。

酵母

菌名		特徴
<i>Candida albicans</i>	カンジダ	指の間、股、陰部などの湿った皮膚で異常増殖することによって、赤みやかゆみ、水ぶくれなどを引き起こす。

カビ

菌名		特徴
<i>Aspergillus niger</i> ／ <i>brasiliensis</i>	コウジカビ	食品汚染カビとして知られ、パンや餅などに黒く生えるカビ。焼酎や泡盛などの醸造に使われる黒麹菌の一種でもある。
<i>Chaetomium globosum</i>	ケタマカビ	特に糖度の高い食品に発生することが多い。カーペットや畳などからも検出されることがあり、衣類や布製品の品質を劣化させる。
<i>Cladosporium sphaerospermum</i>	クロカビ	食品や住居によく見られる一般的なカビ。特に湿度が高く、通気性が悪い場所で増殖しやすく、浴室やキッチンなどに発生しやすい。気管支喘息の原因となる。
<i>Malassezia furfur</i>	癬風菌	皮膚に存在する常在菌であるが、高温多湿な環境、多汗・皮脂の多い皮膚などで増殖しやすい。感染すると白～薄茶色、褐色、ピンク色の斑点が多発する。
<i>Penicillium citrinum</i>	アオカビ	食品や壁、家具など、湿度の高い場所で発生する。空気中に広がりやすく、アレルギーや喘息の原因になることもある。
<i>Trichoderma virens</i> ／ <i>harzianum</i>	ソチアオカビ	住宅建材や畳の裏に発生して住宅をカビ臭くする。カビ毒を発生させることがあり、吸い込むと健康被害を引き起こす可能性がある。
<i>Trichophyton rubrum</i>	白癬菌	「水虫菌」として広く知られている。足のみでなく体の他の部位にも感染する。感染者との接触や、感染源に触れることで広がる。

※この他にもご要望の菌がございましたら一度お問い合わせ願います。